

◆◆「新しい川崎」メール版◆◆

----2023年12月5日・第101号----

<目次>

●川崎市議会第5回定例会、始まる。～市民要求一步前進のチャンスに～

■「奨学金問題」とは何か？～そこから見えてくる若者たちの格差と貧困～

▲お知らせコーナー

☆11/11～12/7「非平和映像集」平和館

☆12/8 憲法といのちと人権を守る12.8川崎集会

☆12/12 市民のためのまちづくり学習会

☆12/14「ウイシュマさん死亡事故から2年 入管法改定で何が変わりますか？」

☆12/16 大倉ミカ・大介バンド ウィンターライブ

☆12/16 学校給食のあり方を考える宮前市民のつどい

☆12/16 川崎区革新懇講演会「気候危機を打開する日本共産党の2030戦略」

☆☆第5回川崎市議会定例会会期日程

★編集後記

●川崎市議会第5回定例会、始まる。～市民要求一步前進のチャンスに～

川崎市議会第5回定例会が始まりました。今議会は、補正予算などの議案36件が提案されています。

11月27日の本会議第1日目に、川崎市福田市長は、冒頭の提案説明を行いました。今回、その中身をチェックしてみました。

冒頭は、臨海部の水素戦略から始まりました。

「川崎臨海部では、全国に先駆けて水素関連プロジェクトを展開」

「我が国のカーボンニュートラルの実現に貢献」

と抽象的な成果の説明にとどまり、この計画で、二酸化炭素をどれだけ減らせるかの数値目標は言及しません。

これまで、川崎市の「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」では、2030年までに、2020年の2200万トンから1850万トンに削減するとしていました。

10年間で、350万トン、1年平均で35万トンずつ減らさなければならないこととなります。

しかし、説明の中で、数字をあげたのは、公共施設の再エネで、約2万4千トンの二酸化炭素を減

らしたとだけ。企業も含めた総量の削減データを示さなければ、説得力はありません。

物価対策では、「まず、重点支援地方交付金を活用し、低所得世帯への速やかな支給に取り組む。」としつつ、市独自の施策については、「その他の支援策は検討を進める。」と触れるだけでした。

市の独自の市民への支援策は、ゼロなのでしょう。

市民の生活・仕事の苦しみの声が聞こえていないとしか思えません。

学校教育への言及では、「未来を担う人材を育成する取り組み」として、「4月に全市立小中学校で実施した新しい学習状況調査の分析結果と授業改善の方向性を11月に示した。」と自画自賛しました。

しかし、実際は、教育産業ベネッセに、作問から採点、分析、個々の生徒への評価まで丸投げしたもののようです。

さすがに、不登校の増加については「本市においても同様の傾向であり、非常に深刻に受け止めています。」と触れるものの、「増加は、全国的状況」として、従来の対策を抽象的に述べるにとどまりました。

説明の後半では、市長が車座集会を60回も開いたことを誇り、「私の基本姿勢である『対話』と『現場主義』に基づき、市政に対する市民の率直な意見をしっかりと聞いて、市政運営に取り組む。」と語りました。

市長にお聞きしたい。市長はこの2年間、だれと『対話』し、どこの『現場』に行ったのですか。『市民の率直な意見』とは、どんな中身だと認識しているのですか。

先月の「第3回川崎市政の未来をかたるつどい」では、8人の方から、切実な市民要求の訴えがありました。(先週のメルマガ「新しい川崎」No.100に掲載)しかし、市長は、市内各地域でおきている要求実現の運動には、何ひとつ触れようとはしなかったのです。

12月20日までの市議会の傍聴に行きましょう。

さらなる請願・陳情を行いましょ。無視された多くの市民要求を市議会議員が受け止め、市民の代表として市長に真っ向からの論戦を挑んでほしいと希望します。

■ 「奨学金問題」とは何か？～そこから見えてくる若者たちの格差と貧困～

2021年度の奨学金利用者は約150万人で、うち貸与奨学金の利用者は116万人。

全学生の3人に1人が平均300万円の借金を背負って社会に出ています。

いま奨学金の貸付総額は10兆円に達し、奨学生たちは卒業後、多額の奨学金の返済に苦しめられています。

12月1日、「奨学金問題から見えてくる貧困と格差」講演会が開催されました。

講師は、武蔵大学教授で、「奨学金問題では第1人者」の大内裕和氏です。(主催は、日本共産党川崎市議団)

大内氏は、2010年に「奨学金問題」の重要性を発見して以来、学者としての研究・講義にとどまることなく、学生たちと改善の運動を進め、着実に成果をあげてきたことを語りました。以下はその記録&感想です。

奨学金制度は、1980年代後半から次々と改悪され、「奨学」とは名ばかりで、「若者貧困ビジネス」化した。有利子奨学金が主力となり、借入金平均は約310万円にも！(2022年9月中央労福調査)

大学にかかる経費の高騰がすさまじい。

2021年の授業料は、国立大で53万6千円。私立大で93万円になった。

50年前と比べると、国立大で50倍、私立大で10倍と異常な値上がりです。

特に、初年度は、入学金などの初年度納付金と授業料で、国立大で約82万円、私立大で平均約136万円にもなった。

多くの学生は、親の収入減で仕送り額もへり、奨学金を受けても生活ができず、ブラックバイトとわかっていても選択できず、過酷な条件で働かざるを得ません。

また、将来の返済不安から奨学金を借りることを抑制し、「バイト漬け」の生活に陥る学生も増えている。

卒業して返済が始まるが、若年層のほぼ半数は、年収300万円以下であり、返済が困難になると、年利10%の延滞金が加算される。

(延滞金の年利は、大内氏たちの運動が実り、2014年に5%に改善。)奨学金の返済で、青年たちの卒業後の生活や人生の選択が狭まり、追いつめられています。

「奨学金問題」を解決できるかどうかは、日本の未来を左右する大問題です。

大内氏は、2023年3月に、「奨学金問題」の解決のための7つの提言を発表し、その実現を目指しています。

- 1 大学・短大・専門学校の授業料を現在の半額。
- 2 大学等修学支援法の対象者を中間所得層まで拡大。支援対象上限を(4人世帯)年収380

万円から、年収 600 万円まで拡大。

3 貸与型奨学金について「有利子から無利子へ」を加速化。

4 給付型奨学金を拡充し、「貸与から給付へ」を加速化。

5 貸与型奨学金制度の改善。具体的には人的保証の廃止、延滞金の廃止、猶予期限の撤廃、所得連動返還型奨学金の改善を実現する。奨学金返済への税制支援など、既に返済している方々への負担を軽減。

6 高校卒業生や社会人を対象とする職業教育(国公立の職業訓練校)の充実。

7 全国の人口 50 万～100 万人以上の都市・自治体に、職業訓練(資格取得)と進学ニーズを満たす公立のコミュニティ・カレッジ(短大)を設置。

[提言本文はここから](#)

▲ お知らせコーナー

☆生き合うための「非平和映像集」

11/11～12/7 全て 14 時より 1 回

川崎市平和館

入場無料/要申込み・80 名まで

[詳細はこちら](#)

☆憲法といのちと人権を守る12. 8川崎集会

12/8 日(金) 18 時半

東田公園

連絡先 弁護士 三嶋健 044-

211-0121

☆市民のためのまちづくり学習会

テーマ「武蔵小杉再開発」と「等々力公園再整備計画」を考える

12/12 日(火) 18 時半

かわさきゆめホール

主催 川崎民主市政をつくる中原区の会

※ 都市再開発や緑保全に関心のある方は、中原区以外からも歓迎です！

連絡先 田鎖英男 090-3514-8397

市古博一 090-7830-8030

☆「ウイシュマさん死亡事故から 2 年 入管法改定で何が変わりますか？」

12/14(木)18時半

てくのかわさきホール

資料代 1000 円 学生以下は無料

連絡先 柴田 090-1458-3102

[詳細はこちらから](#)

☆ゆめごこちライブ Vol.6

12/16(土)

かわさきゆめホール

第1部 15時より

ミカ trio ウインターライブ

第2部 18時より

大介バンドCD発売記念スペシャル

各 2500 円/通し券 4500 円

お申し込み 044-433-3003 ゆめホール

hall@kawasakiyume.com

☆学校給食のあり方を考える宮前市民のつどい

第1部 映画「希望の給食」上映会

第2部 学校給食無料化の実現を

12/16(土)10時～12時

宮前市民館台4会議室

お話 市古博一

連絡先 藤田 090-6034-7686

[詳細はこちらから](#)

☆川崎区革新懇講演会「気候危機を打開する日本共産党の2030戦略」

12/16(土)14時～16時

講師 佐藤洋さん(日本共産党政策委員)

特別報告 片柳すすむさん(日本共産党前市議会議員)

資料代 300 円 連絡先 阿久津 090-7138-6685

[詳細はこちらから](#)

☆情報公開制度を活かす川崎市民の会 23 年度活動報告・学習会

12/19 日(火)18 時～20 時

高津市民館 第 6 会議室(12 階)

問い合わせ先:070-5574-8006

(畑山)

[詳細はこちらから](#)

☆☆第5回川崎市議会定例会会期日程

12/6(水) 代表質問(自民党、みらい)

12/7(木) 代表質問(公明党、共産党、維新の会)

12/8(金)、11(月) 委員会で議案の審議

12/14(木) 議案の討論と採決

12/15(金)～20(水) 一般質問

※ 18 日までで請願・陳情の受け付け締め切りになります。

※代表質問を傍聴しましょう。

★編集後記

劇団わが町による「あしものいずみ」は、旧日本陸軍の秘密戦を研究し、731 部隊とも密接に連携していた登戸研究所を市民劇の舞台にのせた画期的な企画でした。

難解な話題に現代の高校生の視点を加え、時空を行ったり来たりの多重構造で楽しい仕上がり。

敗戦とともにとことん証拠隠滅が図られ、関係者に箝口令が敷かれ、すべては闇の中と思われました。

固く閉ざされた関係者の口を開かせたのは川崎と伊那谷の高校生たちでした。

旧日本陸軍による加害の歴史を二度と繰り返してはならないという思いとともに、あれから間もなく 80 年になろうとしているのに、世界では変わらず命の奪い合いが続き、女性と子どもたちの命が情け容赦なく踏み潰されている事実とどう向き合えば良いか。

怒りと悲しみに震える日々が続きます。(Y)

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

mailmag@newkawasaki.jp

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき!☆☆

配信を希望されない方は以下をクリックしてください。

自動的に登録を解除します。

https://my922p.com/User/cancel_mail/fMwwpqj4/dnjt5I4x4ALg?mail=talosxxx%40gmail.com

誤って登録解除した場合、以下までご連絡をお願いします。

mailmag@newkawasaki.jp